

## 令和4（2022）年度

### 第4回 栃木県立日光明峰高等学校 学校運営協議会

日 時 令和5年2月15日（水）  
9:30～11:00  
場 所 栃木県立日光明峰高等学校  
図書室（南校舎2F）

#### 1 開 会【進行：事務局】

#### 2 会長挨拶

今回が今年度の最後の協議会である。1年間大変お世話になった。今回も成果報告が多い。

#### 3 校長挨拶

本学校運営協議会が令和4年度の文部科学大臣表彰を受けた。また、国体ではスピードスケート部が上位入賞し、科学部では栃木県で最優秀賞を受賞し全国大会に進出を決め、進路も100%決定した。日光学のような特色ある教育課程を続けることで昨今の推薦入試にも対応できる。特色選抜入試の受験者数が例年よりも多かった。本来であれば今回の協議会で次年度の学校経営方針を検討してもらはずであるが、今年度は学校経営方針を変えないつもりであるので行わない。次年度以降また検討してもらいたい。

#### 4 確認・報告

##### (1) 本校・生徒の成果について

事務局説明（資料1）。科学部は全国大会に向けて現在も継続して研究中である。

##### (2) 総合的な探究の時間（日光学）について

事務局説明（資料2）。市議会議員との意見交換会も翌年度4月に予定している。

##### (3) 進路状況について

事務局説明（資料3）。進学・就職ともに100%決定した。ウィンタースポーツコースの多い代で、進学志望生徒の割合が例年より高かった。

##### (4) 冬季インターハイ及び国体の結果について

資料訂正；（2）は「アイスホッケー」

事務局説明（資料4）。スピードスケート部の3年生が国体で4位入賞、アイスホッケーはインターハイでベスト8、国体でベスト4の成績を収めた。

##### (5) 特色選抜入試について

事務局説明（資料5）。県内からの出願者数がここ数年で最多の人数である。本校の取組の周知が進んでいると言えよう。

#### 5 協議【進行：会長】

##### (1) 令和4年度学校評価について

事務局説明（資料6）。生徒アンケート・保護者アンケートともに全体的に高い評価を得られた。高評価が8割を超えなかったものについては次の通り。生徒アンケートでは「問13」がほんの少し8割を割り込んだ。公平な接し方など、教員間で留意したい。

保護者では「問11」がやや低い、同じ項目で生徒の評価は低くない。保護者へ

の伝わり方が異なるということも考えられる。

教員では授業改善と業務への取り組み方がやや低いので、情報交換をより進めるなどして改善に向けた。

委員：特色あるスポーツとしてウィンタースポーツを挙げているが、e スポーツもそれに含まれると思う。活動状況はどうか。

→e スポーツ部は今年度アイスホッケー部に次ぐ規模の部員数を持っている。動画撮影や広報誌への参加も予定しており、プレイだけにとどまらない活動を展開している。

ゴルフ部は地域の協力など環境が整備されている。部員はいるがコースを回れるほどではない。

委員：ゴルフについては、大会参加よりも存在をアピールすることが重要だと思う。人数を増やし、活動を積み重ねてほしい。民間からゴルフ部に協力したいという声も聞いている。

委員：小中学生を対象に、ゴルフ体験教室のようなもので興味を持ってもらうのもよいかも。

→一日体験学習で施設見学、オープンスクールで部活動見学を実施している。今後とも周知を広めたい。

委員：「各種検定受験の推奨と指導の充実」について、「英検を中心に、受験者数・合格者数とともに増加」とあるが、日光市も英検の受験を推進しているので、なにか連携できればよいと思った。また「特別支援教育の充実」についても、日光市の小中学校と連携できる方策を考えたい。

→英検準1級に合格する生徒もいる一方で、学び直しが必要な生徒もいるのが本校の実態である。生徒の個性に応じて、漢字検定や商業・情報に関する資格検定も受験を促している。個別の支援指導については、スクールカウンセラーが年間31日間のカウンセリングを開き、今年度は充実している。今後も様々な機関と連携しながら展開していく。

会長：資格検定は生徒のモチベーションも上がり、また広報にもなるが、資格検定の取得にばかり尽力するのも高校の本来の目的とも違うので、現状はバランスのとれた取組みだとも思う。

委員：バス代が高い、県外生下宿の月額が高いという声を聞いているが、学校はどう思っているのか。またJR日光線の朝のラッシュ、痴漢被害などを把握しているか。自治会連合会から混雑防止についてはJRに提言してはいる。

→東武バスの協力により、今年度から格安の定期券を販売してくれることになっていて、本校生徒や周囲には「だより」や案内をとおして再三伝えている。電車等通学時のトラブルがあれば生徒から必ず連絡が入るが、痴漢の連絡は聞いたことはない。混雑についても、始業時刻がやや遅いこともあってか電車における不満は出ていない。

委員：資料によれば、生徒の上履きについて、安全安心からするとサンダルではなくシューズがよいという意見が生徒からあるので反映してはどうか。また、ヤングケアラーへの対策について知りたい。

→過去にかかとをつぶして履くという点からサンダルになったが、また検討してもよい件だと考えている。ヤングケアラーについて、疑わしい生徒に聞き取りをしたこともあったが、その件ではそれほど困っている様子ではなかった。家庭の事情もあって、踏み込みにくいところもあるがそのように現状を把握している。

委員：専門機関につなぐなども考えるとよい。

委員：英検については、世界遺産の案内など所属する自分の仕事の面からも協力でき

ることもあるので声をかけてもらえればと思っている。ところで、安全安心という点から、SNSの対策や指導はどのような状況か。

→メディアリテラシーに関する意識は情報科の科目でも指導している。誹謗中傷やいじめにつながる内容が生徒から上がれば事情を聴いたり、スクールカウンセラーにつないだりなどの対応をしている。情報モラルについて、今後も意識を高める指導をしていく。

委員：「人権に配慮した教え方」の意識が若干低いということだが、なにか具体的なものはあるか。

→具体的には不明であるが、教員の声かけや叱咤激励に対しても、生徒の個々で捉え方の違いがある。今後とも表現には配慮していく。

委員：自分たちのできる立場で今後とも協力したい。

## (2) 今後の学校と地域の協働について

会長：学校運営協議会自体は年3回にし、それぞれの活動を展開する分科会はその都度開催するという形として提言したい。そして、今後の活動面について協働できることを募りたい。

委員：協賛を募集している。教育活動を支援する資金調達を個人の方にもお願いしたい。生徒第一の教育活動の展開はもちろんだが、先生方の負担軽減という視点を持ってほしい。

委員：下宿に関して、学校による経営でないのは知っているが、年度が切り替わるこの時期、入室の状況がわかれば教えてほしい。

→8名卒業する下宿に、県外生が3名入る予定であると聞いている。

会長挨拶：なし

校長挨拶：次年度は3回の本会であるが、本会委員には、地域学校協働本部のような内容も担ってもらっており、大変お世話になっている。来る3月1日の卒業式では、委員にピアノ伴奏をしてもらう。今後中学生の志願状況にも期待している。一年間お世話になりました。

## 6 事務連絡【進行：事務局】

(1) この後日光学の全体発表会が体育館にて実施されるので、移動されたい。

## 7 閉会